

南ア前衛・尾白川 鞍掛沢～乗越沢～日向山

T野

2023年9月30日～10月1日

メンバー： T野・I崎・K林・M浦・S口・A原・H多



個人山行主体の銀座では珍しい集中山行！！今回は山頂が「天空のビーチ」と呼ばれている南ア前衛にある日向山で集中することにした。計画では、1泊の沢が鞍掛沢～乗越沢（7名）、日帰りの沢がヤチキ沢（3名）、そして日帰りハイキングパーティー（12名）の3パーティ、総勢22名が集中するという壮大なものであった。

当初、予報もまずまずで順調に行く可能性が高いと思っていたが、山行日が近づくにつれ、予報は二転三転し不安定になってきた。それでも我々が出発する9/29（金曜日）夜の段階では、土曜日より集中日の日曜日の方が、予報が良く何とかかなりそうな気配であった。

■写真上 入渓点。

■写真中 キレイな滝にはもれなく綺麗な淵が付いてくる！！

■写真下 この滝は左壁を直登。

しかし、結果は？というと、土曜日に予報が変わり、不安定だといわれていた土曜日はまずまずの天気だったものの、日曜日は天気が崩れて雨模様となり、日曜朝発のメンバーは中止、さらに前夜に現地に来たメンバーも、ヤチキ沢パーティーは中止して、ハイキングパーティーに合流し、そのうち7名が悩んだ末、雨にもめげずにハイキングを決行、もう入山して登るしか選択肢のない1泊沢パーティーと合わせて14名が日向山に集中した。まあ、天気を考えれば上等といえよう。概略はざっとこんな感じであったが、下記は僕が参加した1泊沢パーティー



の報告です。

9/29

夜 21:30、新宿を出発、一路「道の駅はくしゅう」へ。最近、白山やら会越など遠距離ドライブが多かったので、山梨ならほんのご近所さんでひとつ走りだった。I 崎車と合流して入山祝い、ここは一応、屋根こそあるが、雨が降っているとテントなしでは仮眠は厳しい。今回は雨がやんでいたので問題なし。

9/30

今日の行程自体はのんびりだが、入山地の矢立石の駐車スペースが心配なので6時には起床してコンビニで朝食後、矢立石に向かう。すでに結構車が停まっていて何とか2台分を確保、準備して7:45歩き出す。ところどころ荒れた林道を歩き、途中、錦滝で1本とって、3つほどトンネルを潜ると林道は終わり、尾白川に向け急降下、トラロープを頼りに慎重に下降して9:30入渓点着。いつもながら結構長いアプローチである。



■写真上 快適な遊行！！

■写真中 絵になる滝！！

■写真下 滝・滝・淵・淵・美しい！！

沢装備を付けて9:40出発。この渓は「水の色が黄色いとか、バスクリーンみたいな色」という記録が多いが、今回は透明度の高い翡翠色で実に綺麗。ところどころにあ



る大きなスラブ滝には、もれなく翡翠色の美しい淵が付いてくる。何回見ても美しい景色である。スラブ滝は登れそうな滝は登り、難しそうな滝は容易に巻ける。美しい溪を愛でながらのんびり歩き、10:20 鞍掛沢出合。

鞍掛沢に入ると水量は減るが水の色はさらに透明感が増し、よりクリアになってくる。溪相もナメ・淵・登れる小滝・たまに巨岩と変化があり素晴らしい！！

ただ、結構大人数の複数パーティーが先行しているので釣りは望み薄、テンバも予定している乗越沢出合はおそらく満杯だろう。ということで、出合手前でテンバを探しながら登ると、ありました！！好物件。薪も乾いていて豊富にあり、大タープ二張が無理なく張れて最高の立地だ。まだ

12:00、時間は充分すぎるほどある。薪を集めて、土木工事をしてタープを張れば後は自由時間！！A原さんとK林さんは川に釣りに出かけ、その他のメンバーはビールで乾杯！！余りある時間があるので、酒がなくならないようにゆっくりと時間をかけて飲む。つまみも各自が出しあい良い時間が流れる。天気も何とか持っている。今日を乗り越えれば明日はもっと良い天気のはずなので集中成功間違いなしだね！！と、この時は思っていた。



■写真上 ため息が出るほど美しい！！

■写真中 気持ちいい！！

■写真下 美溪が続く！！



夕食はグッチプロデュースの肉がたっぷり入ったカレー！！これが旨かった！！日本酒もすべて飲み干しいい気持でタープに入り就寝。

- 写真上 快適なテンパ。
- 写真中 乗越沢の滝を登る。
- 写真下 鞍掛山鞍部。



「えっ雨！！」深夜1時頃だろうか、ポツポツと降り出した。そして、3時頃、顔に当たる水滴で目を覚ますと結構な本降りである。それにしても、シュラフカバーでいくら顔を隠しても水滴が顔にかかり鬱陶しい。

「寝た場所が悪かったかなあー失敗した。」と思いヘッドランプを点けてみてビックリ！！自分のところだけではない。タープ全体に水滴がびっしり、もはやこのタープは全く防水性のないただの布であった。こんな状態のタープは初めてである。隣で寝ているH多さんも亀のようにシュラフカバーに閉じこもってじっとしている。他のメンバーも声も出さずにひたすら耐えているようだ。このタープは以前から何回も使っているが、考えてみると雨が降るようなときは使用していなかったような……。4時を過ぎたので、もう我慢できんとグッチが隣のタープを見に行くとそこには平和な世界が広がっていた。こっこのタープは全く無事である。早速全員でこっこのタープに移動して、食事はタープの中で……。イヤイヤこの天気は想定外である。





(このタープは今回で破棄。会
装備から除外し、
それならとN野
が引き取った。
何に使うんだろ
う?)

■写真上 奇跡
的にガスが晴れ
てきた!!

■写真下 沢パ
ーティー日向山
に到着!!

10/1

6:40 さっさと
雨の中出発。ひ
と登りで乗越沢
出合、付近には
あちこちにテン
バ適地があり、
ここは沢泊ライ
フを楽しむには
良い沢である。
乗越沢に入ると
溪の雰囲気が変わり、森が近くなる。スラブ状の滝は相変わらずポツポツ出てきて登ったり、小さく巻いたりして苦勞なく遡行する。やがて溪が浅くなり急傾斜のガレ場を登るようになる。

記録によく書か

れているアザミの藪というのは、実はこの辺り、藪というほどではないが素手では触れたくないで、できるだけ沢床を歩いてアザミに触れないようにする。最後の詰めは、アザミはなくなり藪もなく 8:25 に快適に鞍掛山の鞍部に突き上げる。予定よりだいぶ早い。ここで携帯が通じたので、日帰り沢パーティーのT崎さんに連絡が取れる。ヤチキ沢は中止して、ハイキングパーティーと一緒にいるらしい。朝発パーティーは土曜日のうちに早々に中止を決定、現地まで来たメンバーもこの天気ではモチベーションが上がらないようだ。現実、このまま帰るメンバーもいるようだ。無理もない、この天気である。入山前なら当然中止だろう。

T崎さんから「そっちの天気はどうか?」と聞かれたので、一瞬雨が止んだので「こっちは降ってたけどもう止んだよ!!」と答える。今、考えてみると、このやり取りが集中成功





のキーになっていたように思う。やり取りをしていると、下にいるメンバーが逡巡しているのが手に取るようにわかる。もう入山していて、日向山に行くしかない我々にも気を使っているようだ。お試して参加した山の経験が少ないうら若き女性もいて、あまり嫌な思いをさせたくない、というのもよくわかる。どうい

う選択をしても受け入れようと思っていた。

逡巡した結果、7名が雨を突いて山頂に向けて出発するという事になった。先程の「上は雨止んでるよ。」の一言が効いたのでは・・・？ と僕は思っている。やはり、集中できると思うとモチベーションが上がる。9:04 に登山道合流、公園のような美しい森をしばらく歩き、地形が険しくなってくると日向山は近い。10:30 日向山着、ハイキングメンバーの到着を待つ。すると、ご褒美とばかりに雨が止み、辺りの景色がガスとガスの間に浮かび上がる。曇ひとつない快晴はもちろん素晴らしいが、こういう見えたり見えなかつたりという景色も情緒があつてなかなか趣深い。

待つことしばし、ハイキングパーティーが元気に上がってきた！！そして集中！！その時だけ山頂は穏やかな天気で、「天空のビーチ」を楽しむことができた。やはり、集中は楽しい！！これからも年に1回は続けていきたいと思う。

今回はハイキングパーティーの決行の決断に感謝します。おかげで、山頂に行くモチベーションが上がりました。また、同行したメンバーにも感謝！！楽しかったです！！またご一緒しましょう。

■写真 ハイキングパーティーも到着して集中！！全員で記念撮影！！

■コースタイム

9/30

矢立石 (7:45) ~ (8:20) 錦滝 (8:30) ~ (9:30) 入渓点 (9:40) ~ (10:20) 鞍掛沢出合
(10:30) ~ (12:00) テンバ

10/1

テンバ (6:40) ~ (8:25) 鞍掛山鞍部 (8:50) ~ (9:04) 登山道 ~ (10:30) 日向山
(11:50) ~ (12:40) 矢立石